

株主優待制度のご案内

当社株式をご所有の株主の皆様へ、全国の当社店舗でご利用いただけます商品引換券を贈呈させていただきます。

所有株式数	当社商品引換券
100株以上1,000株未満	1,000円
1,000株以上5,000株未満	5,000円
5,000株以上	10,000円

さらに定時株主総会の招集通知に同封します専用ハガキによる応募抽選で、大相撲9月場所観席券（食事付、4名まで可）を2名の方に贈呈いたします。

株主メモ

決算期日	毎年2月末日
株主総会	1. 定時株主総会は、毎年5月に開催いたします。 2. 臨時株主総会は、必要あるときに随時開催いたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 (〒100-0005) UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081) UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03) 5683-5111
同取次所	UFJ信託銀行株式会社全国本支店 野村證券株式会社本店および全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞

株式会社 ポイント

〒130-0026 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国

URL <http://www.point.co.jp>

POINT INC.

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。ここに第53期中間事業報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

全業態(除アウトレット)をSPA化し、増収増益を達成しました。

当期のわが国経済は不安定な国際情勢と長引く不況を背景に、食品から原子力発電に至る広い範囲の安全性に対する大手企業の不祥事も多く露呈し、消費マインドは相変わらず明るさが見えないまま推移しました。

そのような中で、当社は、厳しい小売市場のなかでは、消費者にワクワクするようなライフスタイルを提案するストアブランド商品によって引き出されるストアロイヤリティが小売企業の発展をもたらす、という信念にもとづき、ナショナルブランド品揃え店から脱皮し、ストアブランド商品を販売するSPA（製造小売り）型専門店チェーンへの変革を進めてまいりました結果、当中間期も順調に数字を伸ばし、売上高を92億65百万円（前年同期比31.7%増）といたしました。またストアブランド比率を95.2%（前中間期84.2%）まで増加させた結果、売上総利益率を56.7%（前中間期

53.2%）、経常利益を12億36百万円（前年同期比61.8%増）と、大幅に向上させました。

これもひとえに株主の皆様やお客様、お取引先の皆様のご協力、ご支援の賜物と心よりの感謝を申し上げます。

プレスルームを拡大・新設しました。

本年5月、消費者のブランドロイヤリティ育成により、差別化を強め、売上高を向上させるために、マスコミ、ファッション雑誌への露出強化をめざし、従来のローリーズファーム・プレスルームを東京・原宿へ拡大移転、また同時にその他のブランドのプレスルームを同地域に開設し、専任者を配備しました。今後、雑誌への広告と商品貸出しによる露出を強化し、ブランド力アップを通じた売上強化を進めてまいります。

西日本地区への物流を強化しました。

本年9月、西日本地区への物流をスピードアップするために、従来の水戸商品センターにつぐ第二物流センターを福岡県福岡市に開設しました。これにより、下期は西日本地区への商品供給を一日短縮させ、機会損失を最小限に抑さえ込むことによる売上強化を進めてまいります。

各業態について、ご報告させていただきます。

現状の基幹業態である「ローリーズファーム」を8店舗出店し、中間期末65店舗、売上高を49億5千万円（前年同期比45.8%増）としました。ストアロイヤリティを希薄することなく都心部への出店を続行するために開発した、ファッション性をより高めた姉妹ブランド「ジーナシス」も順調に推移しております。

「グローバルワーク」を4店舗出店し中間期末23店舗、売上高を21億円（前年同期比33.1%増）としました。出店ロケーションを広げるために開発したレディス業態店舗も順調に推移しており、郊外型ファミリー業態とともに、当社の第2の柱に育てていく所存であります。

「エヌフィロー」「ヘザー」を9店舗出店し中間期末店舗数を28店舗、売上高を9億7千万円（前年同期比75.7%増）としました。

「ポイント」はストアブランド比率を91.5%（前中間期69.3%）とし、SPA化を大幅にすすめました。今後につきましては、商品力強化による売上高と収益性向上をめざしてまいります。

「ハレ」は3店舗で2年目の実験を続

行しております。

「ナインボックス」は3店舗出店、1店舗退店し、期末7店舗としアウトレット機能を強化いたしました。

今後ともいっそうのご支援をお願い申し上げます。

今後、以上6業態8ブランドの育成・強化を更に推し進め、魅力あるファッション提案を通じて、個性的な価格帯、ブランド、業態によるSPA型専門店チェーンとして積極的に出店を進め、豊かな暮らしの実現に貢献し、成長する小売企業としての発展に努める所存でございます。

皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

株式会社 ポイント 代表取締役社長
福田 三千男



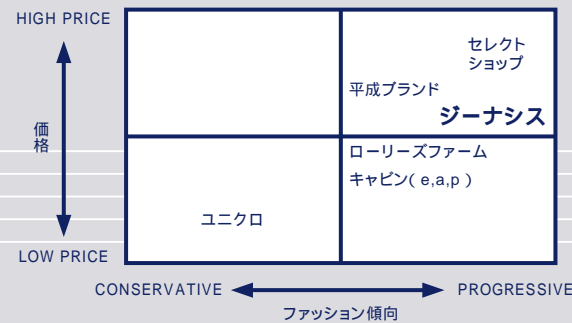
JEANASIS
free style clothes

ローリーズファーム発、
自分のスタイルを持つ女性にフォーカスしたショップ



自分のスタイルとこだわりを持った女性を対象にトレンドを意識しながら、デザイン性だけでなく、素材、加工、シルエット、着心地を重視しています。

ブランドマップ



当中間期出店件数 1店舗（ローリーズファーム店との複合店は4店舗）
ターゲット 20歳代の女性
コンセプト 自然なレイヤード（重ね着）
こだわりの素材と加工
出店ロケーション ファッションビル、路面
標準店舗面積 25坪



ヘザー 大分

NEW OPEN



グローバルワークワールドポーターズ



LFストア 熊本



ローリーズファーム 高岡



グローバルワーク 大分



ヘザーギャレ 大阪



ローリーズファーム 溝口丸井



ローリーズファーム 国分寺丸井



ヘザー 京都

最新店舗オープン情報

グローバルワークエスト
9月1日 OPEN!
大阪府大阪市北区角田町3-25
エスト一番街1F
TEL. 06-6374-0453
ローリーズファーム青森
9月6日 OPEN!
青森県青森市新町1-103
AUGA 1F
TEL. 0177-21-1550
ジーナシス仙台フォーラス
9月7日 OPEN!
宮城県仙台市青葉区一番町3-11-15
仙台フォーラス7F
TEL. 022-264-5416
ヘザー広島
9月7日 OPEN!
広島県広島市中区本通10-1
広島パルコ6F
TEL. 082-542-2149
ジーナシスエスト
9月19日 OPEN!
大阪府大阪市北区角田町3-25
エスト一番街1F
TEL. 06-6376-8505
ローリーズファーム高岡
9月19日 OPEN!
富山県高岡市下伏間江383
イオン高岡ショッピングセンター2F
TEL. 0766-32-1214

グローバルワーク高岡
9月19日 OPEN!
富山県高岡市下伏間江383
イオン高岡ショッピングセンター2F
TEL. 0766-32-1233
ローリーズファーム那覇
10月1日 OPEN!
沖縄県那覇市おもろまち4-4
サンエーメインプレイス1F
TEL. 098-951-3320
グローバルワーク那覇
10月1日 OPEN!
沖縄県那覇市おもろまち4-4
那覇メインプレイス2F
TEL. 098-951-3360
グローバルワーク伊丹
10月10日 OPEN!
兵庫県伊丹市天津藤ノ木80
ダイヤモンドシティテラス2F
TEL. 0727-71-7180
ジーナシス栄公園
10月11日 OPEN!
名古屋市東区東桜1-11-1
TEL. 052-955-1313
ジーナシス札幌ビヴォオ店
10月12日 OPEN!
北海道札幌市中央区南二条西4-11
ビヴォオ2
TEL. 011-223-2160

ファッションスポットの路面に出店

当社の主な出店先ロケーションは、ファッションビルやショッピングセンターなど、いわゆるインショップ出店ですが、全国のファッションスポットに関しては、店舗のイメージをダイレクトにお伝えすることと、フラッグシップショップとしての広告塔の意味合いから積極的な出店を進めております。



ローリーズファーム 代官山



ヘザー 京都

プレスルーム開設

ファッション雑誌などへの掲載を推進するため、原宿地区にプレスルームを開設いたしました。ローリーズファームに関しては渋谷からの移設、他のブランドは新規開設となります。雑誌社やスタイリストとの密なコミュニケーションの図れる立地により、これまで以上の媒体活用をめざしております。



福岡物流センター開設

これまで、子会社(株)ボジックにより水戸地区で運営しておりました物流センターに加え、福岡地区に第二拠点として福岡物流センターを開設いたしました。関西以西地区への納品時間短縮と、店舗の在庫回転率向上による鮮度管理を目的に、9月から稼働を開始いたしました。



退職金制度を変更しました

当社は、社員の退職金制度として厚生年金基金及び適格退職年金制度といった確定給付型の退職金制度を採用してきましたが、本年8月より全面的に前払退職金制度に移行しました。これは、社員の年齢構成、勤続期間、就業ニーズ等を勘案し、多様なライフプランニーズに応えたものです。これからも社員のモチベーションアップにつながる施策に取り組んでまいります。

発行済株式数が増えました

当社は、9月の公募増資100万株に続いて、10月にはオーバーアロットメントに伴う第三者割当増資76,800株を行い、約1,826百万円を調達しました。この結果、発行済株式総数は8,531,600株になりました。調達資金については、主に新規出店等の設備資金として有効に利用していく予定です。これにより、機動的な出店にも対応可能となり、収益力向上を図ることによって株主価値を高めてまいります。これからも株主の皆様への期待に応えられるよう、全社をあげて経営基盤強化に取り組んでまいります。

業績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府からは景気底入れ宣言が発表されましたが、その一方でデフレ傾向には歯止めがかからず、また株式市場の低迷や失業率の高止まりが続いており、景気動向の先行きには依然不透明感があります。

流通業界におきましても、雇用環境や所得水準の低迷の中で個人消費は冷え込んでおり、厳しい状況が続いております。当社の属するカジュアルウェア市場におきましては、顧客ニーズを的確に捉え、反映した商品政策を展開している一部の有力ショップには復調もみられますが、消費者による選別は今後も強まるものと思われ、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中で、当社は、消費者にワクワクするようなライフスタイルを提案するという経営理念にもとづき、ナショナルブランド品揃え店から脱皮し、ストアブランドを販売するSPA（製造小売り）型専門店チェーンへの変革を進めてまいりました。ブランド価値の向上こそがお客様からの支持を得る最大の施策と考え、自社企画商品によるストアブランドの拡大、雑誌広告の拡大とスタイリスト・著名人への衣装貸与等による知名度向上、新鮮な店舗設備に注力し、ブランド価値の向上を図るとともに、競合他社との差別化を推し進めてまいりました。また、販売機会ロスを最小にするための情報システムの改善や第2物流センター設置等により効率化に注力して

おります。

以上の結果、当中間連結会計期間におきましては、売上高92億65百万円（前年同期比31.7%増）、営業利益12億58百万円（前年同期比63.1%増）、経常利益12億36百万円（前年同期比61.8%増）となりました。また、従業員退職金制度を見直し、当中間連結会計期間において適格退職年金制度を廃止したことに伴う退職給付引当金戻入益46百万円を特別利益に計上しました結果、中間純利益は6億92百万円（前年同期比111.1%増）と大幅な増収増益となりました。

対処すべき課題

デフレ経済の中で個人消費の低迷が続いておりますが、また一方で、買いたい物が無いという消費不況があると考えております。

このような消費環境におきまして、「ワクワクする普段着」をお客様の視線で提案し、ライフスタイルを豊かにして社会貢献を図るべく、以下の事項を課題として対処していく所存であります。

①業績・展望の見込める業態については、引き続き積極的な店舗展開をしてまいります。基盤確立期あるいは再構築期にある業態については、都度業態の再評価をし、必要な業態修正策を実施いたします。また、新規業態（既存業態からの派生業態を含む）を積極的に策定・育成し、新たなビジネス分野の基盤を構築してまいります。

②ストアブランド化・SPA化はほぼ完

了しましたが、今後は多くのお客様に知って頂くために、コーポレートブランドの認知向上を図り、当社商品及び店舗の知名度を高めるべく、積極的な宣伝・広報活動を推進してまいります。

③より多くのお客様により速く商品を提供できるよう福岡県に第2物流センターを設置しました。これによりアジア（中国、韓国等）で生産した商品の運送日数の短縮と、西日本地域の店舗への配達日数が短縮されます。また、収益面では販売機会ロスの削減を、コスト面では運送コストの削減を図ってまいります。

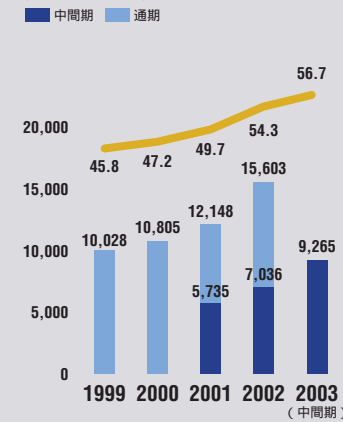
通期の業績見通し

今後の見通しにつきましては、デフレ進行により経営環境は不透明感を強めているものの、低価格だけが全てではない、良いものがあれば積極的に買いたいという消費者層もあると考えております。

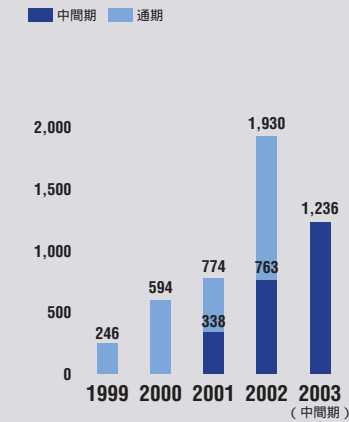
従いまして、消費の選択によるお客様のニーズに応え、顧客満足度を高めるため、価値ある商品を提案してまいります。また、本年9月から第2物流センターが実稼動するため、商品投入期間の短縮が可能となり、販売機会ロスの減少と配送コストの削減を見込むとともに、更なる店舗網拡大に備えてまいります。

以上により、通期の業績は売上高196億78百万円（前連結会計年度比26.1%増）、経常利益24億37百万円（前連結会計年度比26.3%増）、当期純利益13億44百万円（前連結会計年度比84.6%増）を見込んでおります。

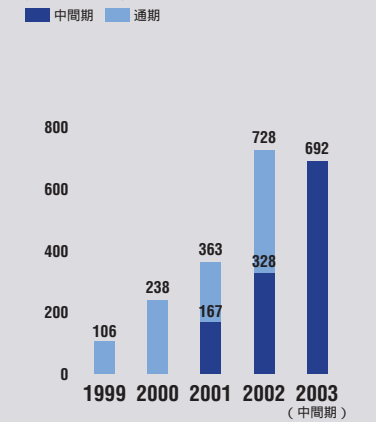
売上高・売上総利益率(連結)
(百万円、%/2月期)



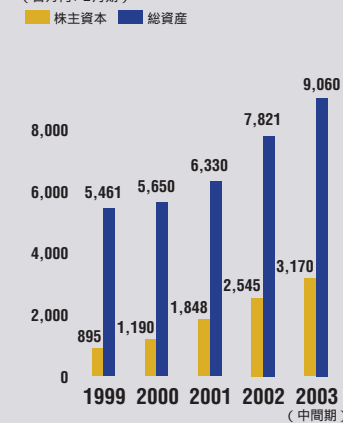
経常利益(連結)
(百万円/2月期)



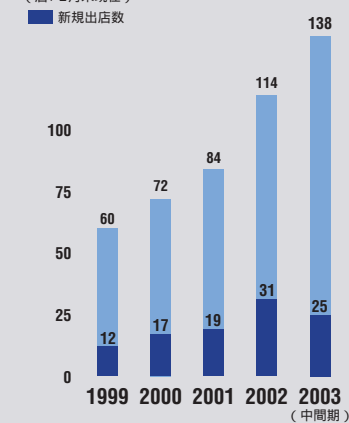
当期純利益(連結)
(百万円/2月期)



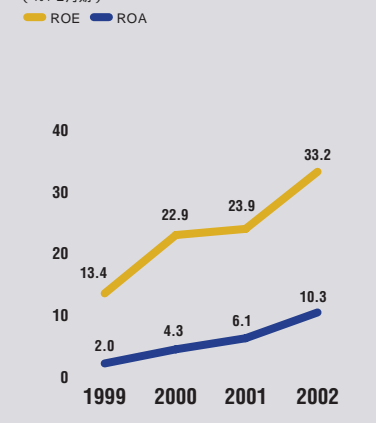
株主資産・総資産(連結)
(百万円/2月期)



店舗数
(店/2月末現在)



ROE・ROA(連結)
(%/2月期)



株主資産・総資産については、2期間の平均値を採用しておりますが、1999年度は、1998年度の単体データと1999年度の連結データを利用して作成しております。

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

期別	当中間期	前中間期	前期	期別	当中間期	前中間期	前期
科目	(2002年8月31日現在)	(2001年8月31日現在)	(2002年2月28日現在)	科目	(2002年8月31日現在)	(2001年8月31日現在)	(2002年2月28日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
I 流動資産				I 流動負債			
1.現金及び預金	1,647,332	1,491,596	1,891,852	1.支払手形及び買掛金	2,173,958	1,729,913	2,358,458
2.売掛金	1,042,296	626,591	588,526	2.短期借入金	788,766	593,463	475,202
3.有価証券	10,115	59,695	10,114	3.未払金	776,883	479,517	583,889
4.たな卸資産	1,445,508	1,176,051	1,340,289	4.未払法人税等	529,457	425,179	680,718
5.その他	232,938	374,169	233,800	5.賞与引当金	100,009	93,650	96,100
6.貸倒引当金	33,958	5,096	18,788	6.匿名組合債務	-	281	-
流動資産合計	4,344,234	3,723,008	4,045,796	7.その他	30,339	7,926	11,726
II 固定資産				流動負債合計	4,399,413	3,329,931	4,206,095
1.有形固定資産	968,993	318,770	386,972	II 固定負債			
2.無形固定資産	76,227	67,903	66,463	1.社債	500,000	-	-
3.投資その他の資産				2.長期借入金	841,862	1,362,016	872,657
(1)保証金敷金	3,169,769	2,561,531	2,749,084	3.役員退職慰労引当金	148,344	134,102	142,402
(2)その他	542,952	373,581	638,054	4.退職給付引当金	-	59,716	55,263
(3)貸倒引当金	41,831	7,679	64,523	5.その他	-	1,364	37
投資その他の資産合計	3,670,891	2,927,434	3,322,616	固定負債合計	1,490,206	1,557,198	1,070,359
固定資産合計	4,716,112	3,314,108	3,776,051	負債合計	5,889,619	4,887,130	5,276,455
資産合計	9,060,346	7,037,116	7,821,848	(資本の部)			
				I 資本金	457,363	457,363	457,363
				II 資本準備金	317,254	317,254	317,254
				III 連結剰余金	2,393,097	1,367,764	1,768,269
				IV その他有価証券評価差額金	3,514	8,106	3,008
				自己株式	502	502	502
				資本合計	3,170,727	2,149,986	2,545,393
				負債及び資本合計	9,060,346	7,037,116	7,821,848

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

期別	当中間期	前中間期	前期
科目	(2002年3月1日から 2002年8月31日まで)	(2001年3月1日から 2001年8月31日まで)	(2001年3月1日から 2002年2月28日まで)
I 売上高	9,265,697	7,036,413	15,603,811
II 売上原価	4,007,841	3,296,432	7,130,494
売上総利益	5,257,856	3,739,980	8,473,316
III 販売費及び一般管理費	3,999,382	2,968,249	6,535,522
営業利益	1,258,474	771,731	1,937,794
IV 営業外収益	8,943	13,654	31,485
V 営業外費用	31,301	21,474	38,754
経常利益	1,236,115	763,911	1,930,526
VI 特別利益	46,840	-	71,740
VII 特別損失	46,815	99,030	567,484
税金等調整前(当期)純利益	1,236,140	664,881	1,434,781
法人税、住民税及び事業税	530,025	427,441	848,140
法人税等調整額	13,394	90,747	142,051
中間(当期)純利益	692,720	328,187	728,692

中間連結剰余金計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当中間期 (2002年3月1日から 2002年8月31日まで)	前中間期 (2001年3月1日から 2001年8月31日まで)	前期 (2001年3月1日から 2002年2月28日まで)
I 連結剰余金期首残高		1,768,269	1,090,125	1,090,125
II 連結剰余金減少高		67,892	50,548	50,548
1. 配当金		40,992	29,348	29,348
2. 役員賞与 (うち監査役賞与)		26,900 (1,100)	21,200 (1,000)	21,200 (1,000)
III 中間(当期)純利益		692,720	328,187	728,692
IV 連結剰余金中間期末(期末)残高		2,393,097	1,367,764	1,768,269

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	期別	当中間期 (2002年3月1日から 2002年8月31日まで)	前中間期 (2001年3月1日から 2001年8月31日まで)	前期 (2001年3月1日から 2002年2月28日まで)
I 営業活動による キャッシュ・フロー		4,360	579,749	1,731,551
II 投資活動による キャッシュ・フロー		977,072	187,542	328,551
III 財務活動による キャッシュ・フロー		728,192	8,122	602,411
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額		-	-	-
V 現金及び現金同等物 の増減額		244,518	400,329	800,589
VI 現金及び現金同等物 の期首残高		1,521,967	721,378	721,378
VII 現金及び現金同等物 の中間期末(期末)残高		1,277,448	1,121,708	1,521,967

会社概要 (2002年8月31日現在)

会社名 株式会社ポイント
 本部 東京都墨田区両国3-21-1 グレイスビル両国
 代表電話 03-5624-6011
 設立 1953年10月
 資本金 457,363千円
 代表者 代表取締役社長 福田三千男(ふくだ みちお)
 事業内容 カジュアルウェア専門店チェーン
 事業所 水戸本店 東京本部
 店舗数 138店舗
 主要取引銀行 東京三菱銀行 常陽銀行 UFJ信託銀行
 東洋信託銀行株式会社は、2002年1月15日より、UFJ信託銀行株式会社となりました。
 社員数 正社員397名(男167/女230)
 このうち、子会社への出向者が6名おります。
 平均年齢 27.1歳

連結子会社

会社名 株式会社ポジック
 資本金 10百万円
 当社の出資比率 100%
 主な事業内容 当社取扱商品の物流業務

役員紹介 (2002年8月31日現在)

代表取締役社長 福田 三千男
 専務取締役(営業本部長) 黒田 博
 取締役(開発室長) 勝山 章廣
 取締役(管理本部長) 吉野 明男
 取締役(企画本部長兼情報システム室長) 時松 克治
 取締役(内部監査室長) 日野 力
 取締役(第一営業部長、ポイント・グローバルワーク担当) 櫻井 健一
 取締役(第二営業部長、ローリーズファーム担当) 石井 稔晃
 取締役(経営企画室長、IR担当) 遠藤 洋一
 監査役(常勤) 新名 宏志
 監査役 野村 義衛
 監査役 横山 哲郎

株式の状況 (2002年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数 12,600,000株
 発行済株式総数 7,454,800株
 株主数 652名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	出資比率 (%)
福田三千男	2,689,200	36.07
有限会社テツカンパニー	842,400	11.30
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	575,600	7.72
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	424,700	5.69
ポイント従業員持株会	371,772	4.98
福田泰生	146,400	1.96
福田穰仕	146,400	1.96
福田仁美	143,000	1.91
福田哲三	100,000	1.34
豊島株式会社名古屋本社	100,000	1.34

(注)日本マスタートラスト信託銀行株式会社及び日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、証券投資信託及び年金投資基金信託財産であります。

所有者別株式数分布状況

